



しばいぬ

年金講座

テーマ4 年金額改定

2026年9月作成

年金額改定・物価との比較

年金額改定率と物価変動率

年金額改定率：基礎年金の改定率

年度	年金額改定率	物価変動率(前年)	差引（年金改定－物価）
令和4年度	－0.4%	－0.2%	－0.2%
令和5年度	＋1.9%	＋2.5%	－0.6%
令和6年度	＋2.7%	＋3.2%	－0.5%
令和7年度	＋1.9%	＋2.7%	－0.8%
令和8年度	＋1.9%	＋3.2%	－1.3%
平均			－0.7%

年金は 物価上昇に見合う分 上がるのか



上表では 年金の上昇率は物価の上昇率より 1年で0.7%少ない

年金額改定・・・どのように決まる？

年金額改定率は、どのように決まる？

年度	物価変動率	賃金変動率	被保険者数	平均余命	マクロ繰越	年金額改定率
令和5年度	+2.5%	+2.8%	+0.0%	-0.3%	-0.3%	+1.9%
令和6年度	+3.2%	+3.1%	-0.1%	-0.3%	-	+2.7%
令和7年度	+2.7%	+2.3%	-0.1%	-0.3%	-	+1.9%
令和8年度	+3.2%	+2.1%	+0.1%	-0.3%	-	+1.9%

年金額改定率・・・上表の赤字を合計→令和8年度なら $+2.1 + 0.1 - 0.3 = +1.9$

【説明】

- **物価変動率・賃金変動率は、低い方**を使います（正確には「全国消費者物価指数」「名目手取り賃金上昇率」）
- (公的年金)被保険者数の変動・平均余命の伸びは、マクロ経済スライドと呼ばれる調整です
- マクロ繰越は、マクロ経済スライドの前年度以前の繰越分です

【決定時期】 令和9年度の年金額改定率は、令和9年**1月下旬に発表**されます

年金額改定・・・考え方

年金額改定率は、どのような考え方で、この決め方にしたのでしょ

年度	物価変動率	賃金変動率	被保険者数	平均余命	マクロ繰越	年金額改定率
令和8年度	+3.2%	+2.1%	+0.1%	-0.3%	-	+1.9%

「物価変動率」と「年金の給付と保険料収入のバランス」

【物価変動率・賃金変動率】年金は生活費なので、物価に連動するのが基本ですが、一方、年金保険料を負担する人とのバランスを考える必要があります。そこで、「物価変動率を使うが、賃金変動率がそれより低い時は賃金変動率を使う」ことになっています

【被保険者数・平均余命】マクロ経済スライドと呼ばれる調整です。時限的なものですが終了時期は未定です。被保険者数が減ると年金保険料収入も減るので調整する必要があるということです。また、平均余命は長生きする人が増えると年金を受け取る期間が長くなるので調整する必要があるということです。

【マクロ繰越】マクロ経済スライド（被保険者・平均余命）の調整は、年金額改定率がゼロになるまでと決められています。その年度に調整できなかった分は、翌年度以降に繰り越します。